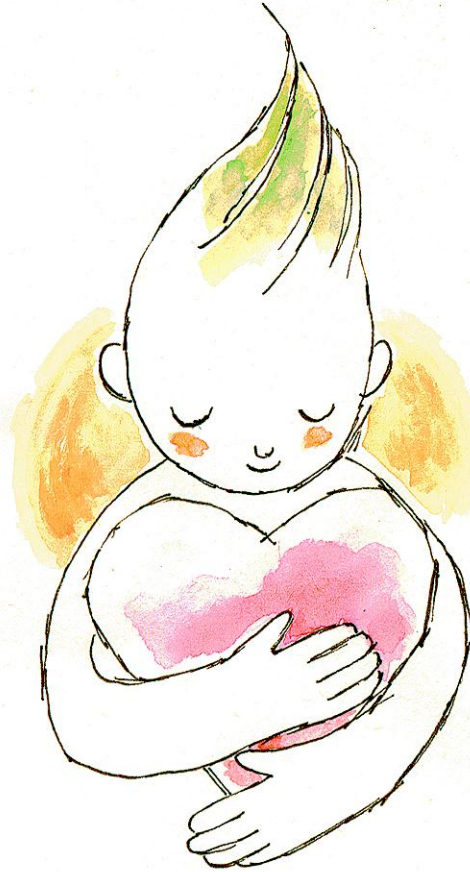


# 服育について

～衣服のコミュニケーションカ～



# 服育の前に、食育について



多くの食品系企業が食育を社会貢献活動と位置づけ取り組んでいます。

ex. キューピー、日清食品、森永製菓、パルシステム等  
(「食育 社会貢献活動」でGoogle検索した上位結果)



2005年には食育基本法も施行され、学校のみならず様々な企業やNPO等が参加して食育の活動は広がりを見せています。

食育は栄養学的な学習だけでなく、食を通じた躰や地域・環境問題の理解など、食に関わる広い内容を含んでいます。

## ＜食育基本法＞より抜粋

食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている。



And more...

様々な  
世界との  
つながり



環境

多様な  
価値観

国際性



社会との  
繋がり

社会性



健康  
安全

自分を守る





DRESSTHINK

## <社会性に関する取り組み>

- 衣服のTPO  
正装としての制服の着こなしについて  
学校における服装について
- 社会人としての服装マナー



EARTHINK

## <環境に関する取り組み>

- 衣服から考える環境  
衣服とリサイクル、衣服とCO2
- 衣服から始められる環境貢献  
3R、ライフサイクル的思考、CFP  
エシカルコンシューマー

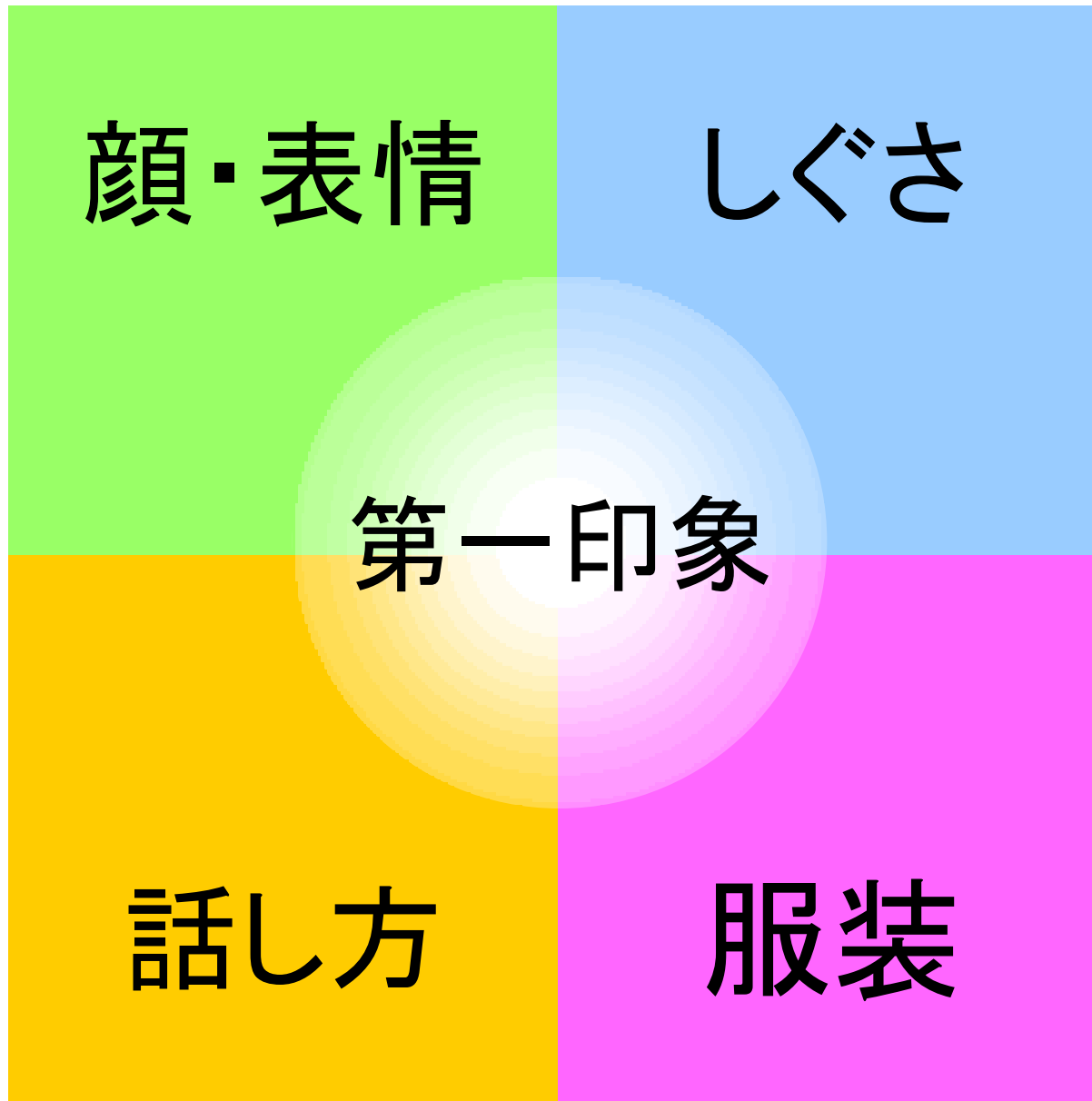


**DRESSTHINK**

# 社会性に関する取り組み



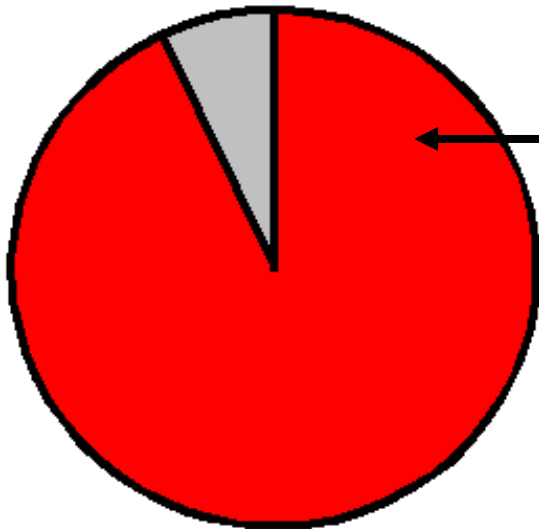






バーバル コミュニケーション  
Verbal Communication  
言語コミュニケーション

ノンバーバル コミュニケーション  
Non-verbal Communication  
非言語コミュニケーション



← 93%はノンバーバル・コミュニケーション  
伝えたくなくても伝わっている  
(メラビアンの法則より)

外見の中でも特に「**服装**」  
は見せたい自分に近づく一番簡単な方法



オンタイムの  
着こなし三大原則

**留める**

**締める**

**結ぶ**



# 衣服のTPOに関する取り組み

DRESSTHINK

〈自由服の学校で考える学校の服装〉大阪市立矢田東小学校  
自由服の小学校において、学校で着るのに相応しい服装について考える授業。







DRESSTHINK

# 衣服のTPOに関する取り組み

〈服育シンポジウム〉茨城県立取手第一高等学校  
地域・生徒が一緒に「制服」についてディスカッション



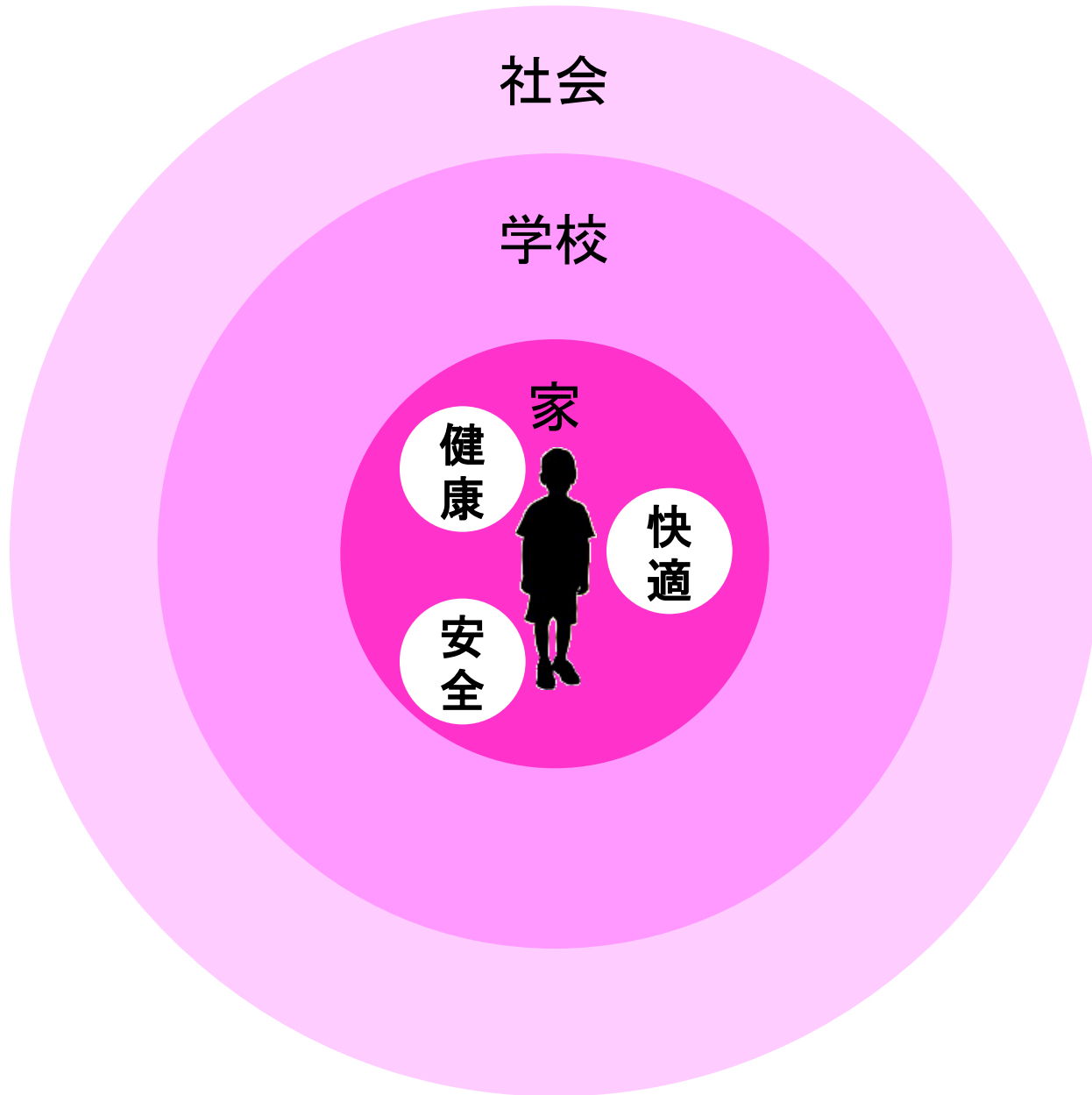
大人代表（学校、地域、警察、企業）



生徒代表

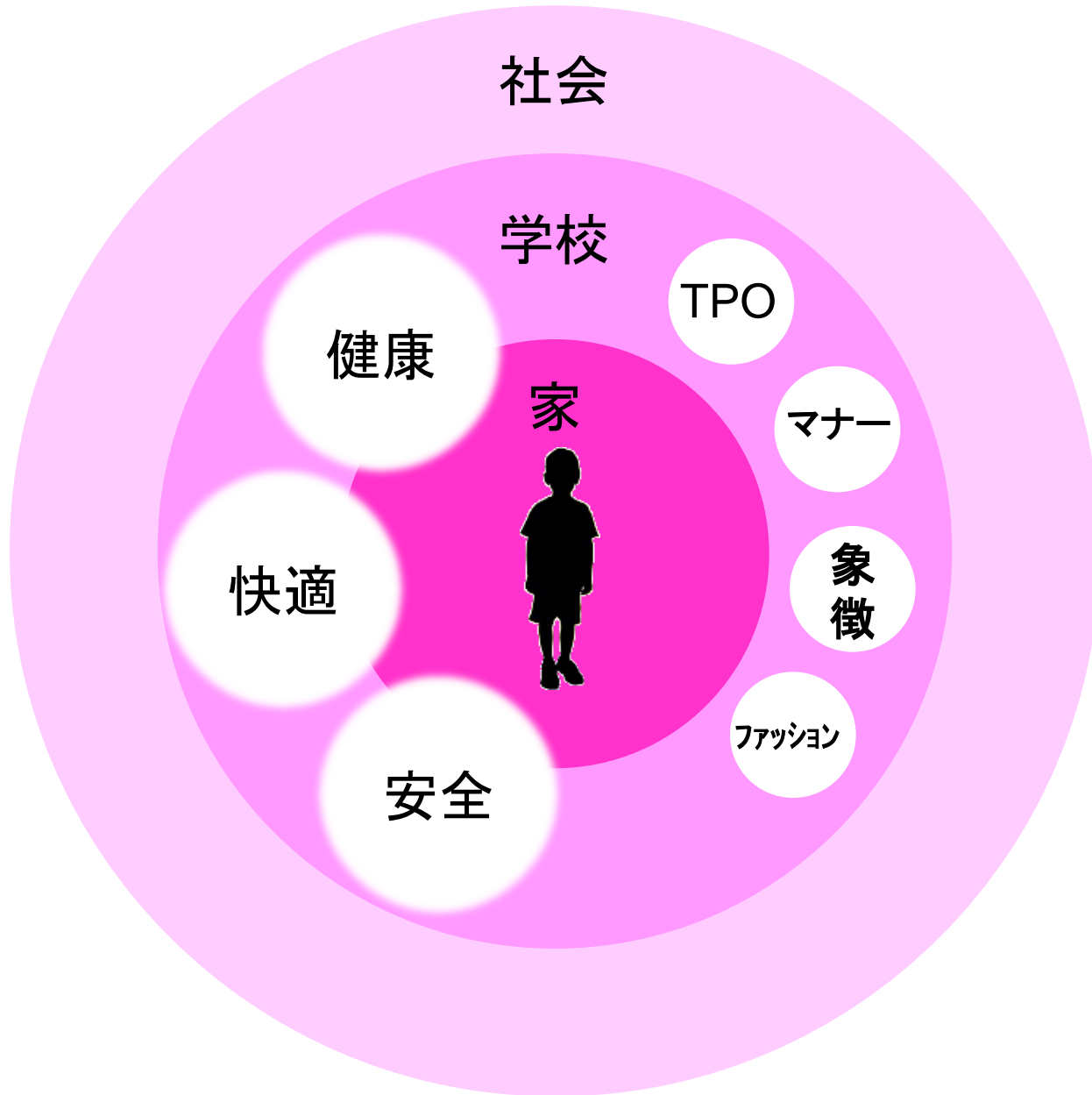


# 服の役割の広がり





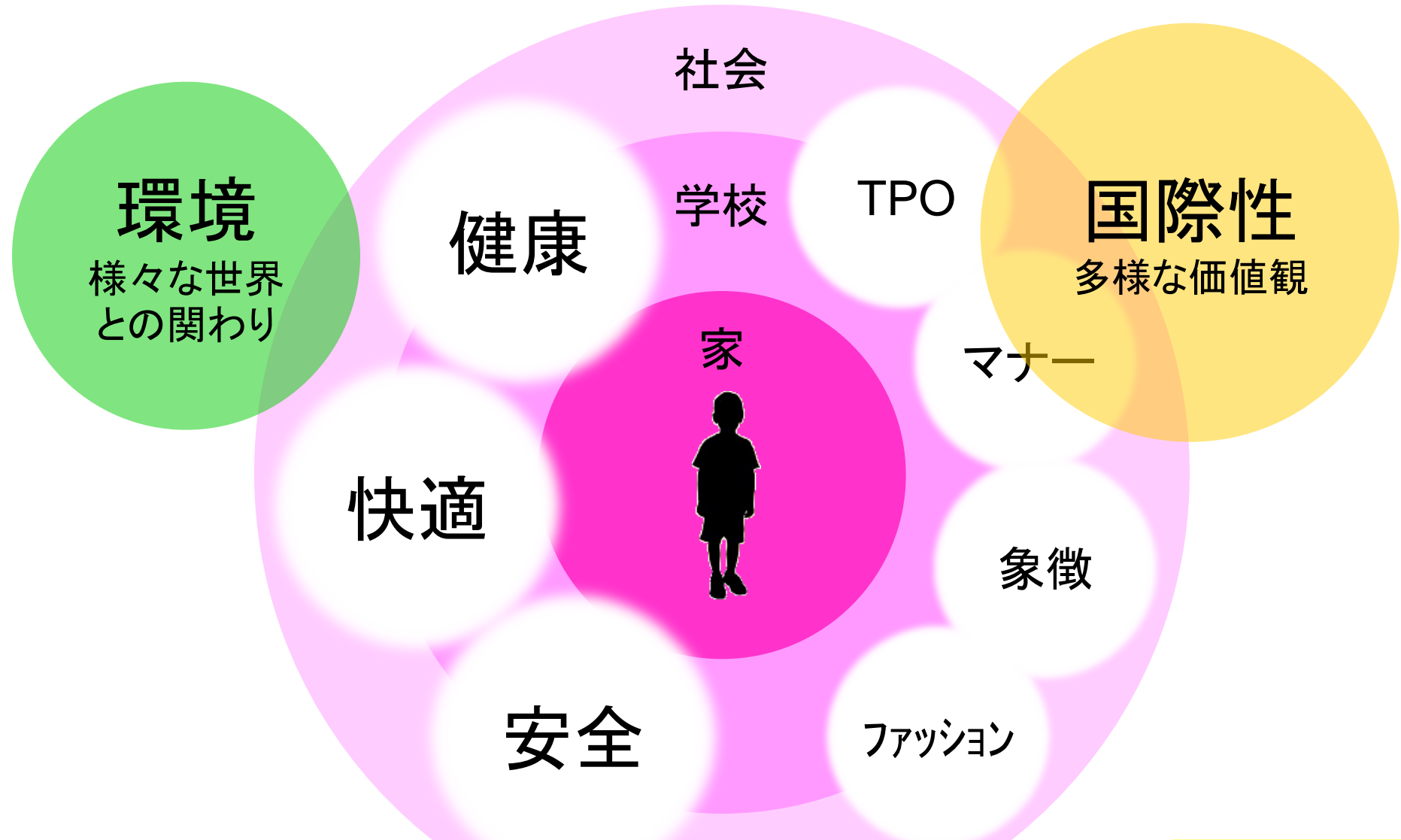
# 服の役割の広がり







# 服の役割の広がり



服の役割（服の担うもの）は成長とともに増えていく。  
子どもの成長段階に応じて、きちんと教えていくことが大切。



言葉で教える  
行動で教える



EARTHINK

# 環境に関する取り組み

服の一生から考える

# ライフサイクル思考





# 環境に関する取り組み

EARTHINK

## 〈環境授業〉

学校からの要望に応じて開催

1. 身近な衣服と環境問題が  
つながっていることを知る。
2. 衣服のライフサイクルを  
知り、衣服を通してどのよう  
な環境貢献ができるか考える。
3. 具体的な活動へ移していく。  
衣服→その他へ

具体的には、

- ペットボトルリサイクル
- 衣服のゴミ問題（3R）







EARTHINK

# 環境に関する取り組み

〈服のライフサイクル〉 川崎市立宮内中学校

服のライフサイクルについて学び、身近な服とCO2の関係について知る。







EARTHINK

# 環境に関する取り組み

<服のライフサイクル> 制服の一生すごろくで学ぶ

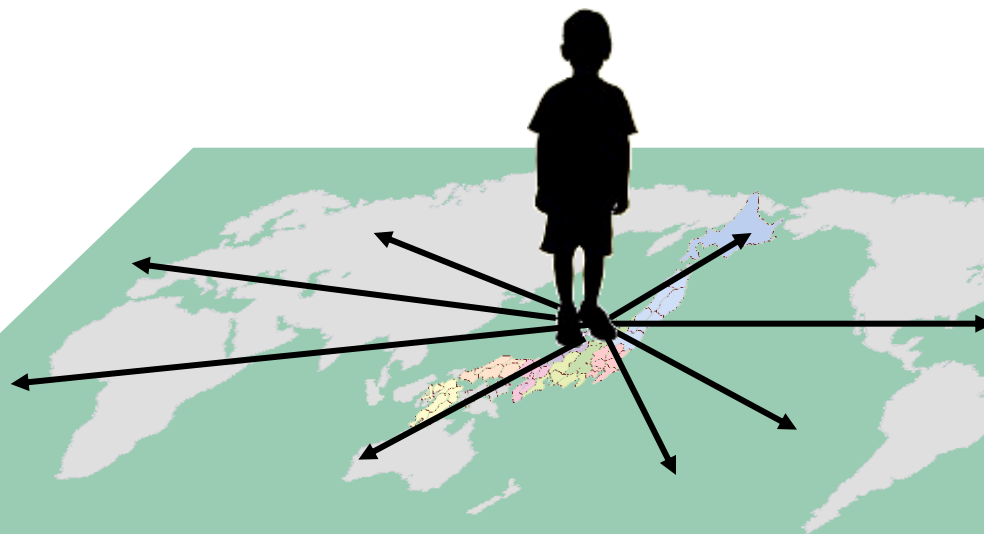






EARTHINK

# 環境に関する取り組み



誰にとっても身近な衣服

衣服は  
気づきの入り口



衣服は  
行動の入り口



より広い  
興味や行動へ

<社会性>

**着こなす力**

**知識**  
TPO

**こころ**

相手を思いやるこころ

<環境>

**選択する力**

**知識**  
3R、ライフサイクル

**こころ**

ものを大切にすること

「第二の皮膚」である衣服は、子どもから大人まで生活する上でなくてはならないもの。その服を通じて「こころ」を育てていくのが服育。



## 服育活動の実践例

日本教育新聞 2009年2月23日

自由選択で「MOTAINAI SCHOOL(もたないスクール)」を採用  
 南山大学附属小学校、  
 いよいよ4月から開校。制服も決定!

環境に優しい、  
 使い捨てしない制服

また、小学校では全国初の「MOTAINAI SCHOOL」が自由選択として採用されている。これは、RE DUCE(ゴミの減量)、REUSE(不用品の再利用)、RECYCLE(ゴミの再資源化)の3Rを制服を通して取り組むというもの。具体的には、長く着られる耐久性と、サイズ調整が可能なほか、修繕も簡単。さらにリサイクルが容易な仕立てになっている。それによって子供たちの豊かな心を育む「服育」

も目指すという。物を大切にして感謝する心は、校訓にも込められている。

昔は「おどがり」もできたが、少子化の今ではこのように使い捨てをしない社会的なシステムが必要なのである。「たとえばテフロンは木製の物を使います。音色はいいのですが、手入れも必要。音楽や美術は本物を使うことによって、さらに感性を磨きたいのです。南山では、そうした児童の育成に必要なモノやコトを発信していきたい。「MOTAINAI SCHOOL」の採用もそのひとつなのです」

南山大学附属小学校の新しい制服。男子のネクタイ、女子のリボンにあしらわれた南山カラーのブルーとイエローが鮮やかだ。



南山大学附属小学校

2008年4月開校予定(設置認可申請中)

<http://www.nanzan.ac.jp/shogakko/>

### ものを大切にする気持ちを育む

#### 地域と連携して制服の再資源化を

環境配慮に願いをこめて

いわき秀英高等学校 学校を環境配慮の取組として、制服の再資源化に取り組んでいる。具体的には、制服を使う際に「MOTAINAI SCHOOL」の取り組みを推進している。これは、RE DUCE(ゴミの減量)、REUSE(不用品の再利用)、RECYCLE(ゴミの再資源化)の3Rを制服を通して取り組むというもの。具体的には、長く着られる耐久性と、サイズ調整が可能なほか、修繕も簡単。さらにリサイクルが容易な仕立てになっている。それによって子供たちの豊かな心を育む「服育」



「服」の大切さを伝えるために、MOTAINAI SCHOOLの取り組みを推進している。これは、RE DUCE(ゴミの減量)、REUSE(不用品の再利用)、RECYCLE(ゴミの再資源化)の3Rを制服を通して取り組むというもの。具体的には、長く着られる耐久性と、サイズ調整が可能なほか、修繕も簡単。さらにリサイクルが容易な仕立てになっている。それによって子供たちの豊かな心を育む「服育」

#### いわき秀英高等学校

#### 卒業生の制服も再利用

「服」の大切さを伝えるために、MOTAINAI SCHOOLの取り組みを推進している。これは、RE DUCE(ゴミの減量)、REUSE(不用品の再利用)、RECYCLE(ゴミの再資源化)の3Rを制服を通して取り組むというもの。具体的には、長く着られる耐久性と、サイズ調整が可能なほか、修繕も簡単。さらにリサイクルが容易な仕立てになっている。それによって子供たちの豊かな心を育む「服育」

日本教育新聞 2008年2月25日



南山大学附属小学校

南山大学附属小学校の新しい制服。男子のネクタイ、女子のリボンにあしらわれた南山カラーのブルーとイエローが鮮やかだ。

南山大学附属小学校の新しい制服。男子のネクタイ、女子のリボンにあしらわれた南山カラーのブルーとイエローが鮮やかだ。